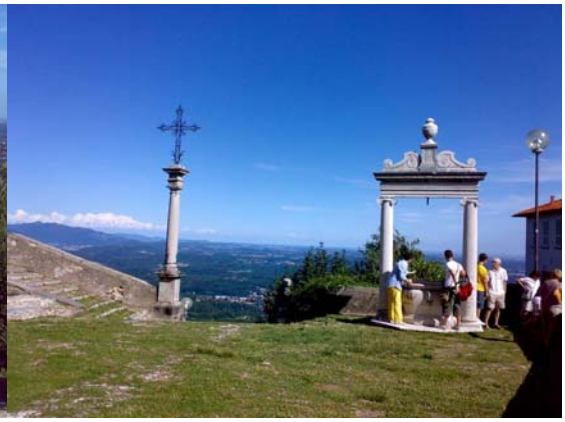
その１、ヴァレーゼ

第１回目の巡礼地として、4 のヴァレーゼを選びました。添付にヴァレーゼのサクロ・モンテのガイドをつけました。一部、日本語に訳してあります。キリスト教徒では無い人がサクロ・モンテを見るには事前にある程度の知識が必要です。サクロ・モンテは山の上にあるので周りの雄大な景色も望むことができ、サクロ・モンテとの組合せはすばらしく観光客が一杯でした。但し、ほとんどはドライブで来ているようで、駐車場には車が、駐車場のカフェには観光客で一杯でした。家族連れが多い中ご老人の巡礼も多く見かけました。東洋人は誰も見かけませんでした。



礼拝堂の中は（3,4 個の）窓から覗くしかありません。ちょっと見難いのですが、保存のためには仕方が無いと思います。

私は、朝早く起きる事が出来ずに、カドルナを出たのは、11 時半です。12 時 45 分頃に Varese Nord 駅に到着しましたが、駅前で、サクロ・モンテ行きのバス停を聞いたところ誰もわからす、バスの運ちゃんに聞いたら、あっちだというだけ。結局、自分で探しました。直ぐに見つかったのですが、お腹がすいたので食事する事にし、Varese の街を歩きました。

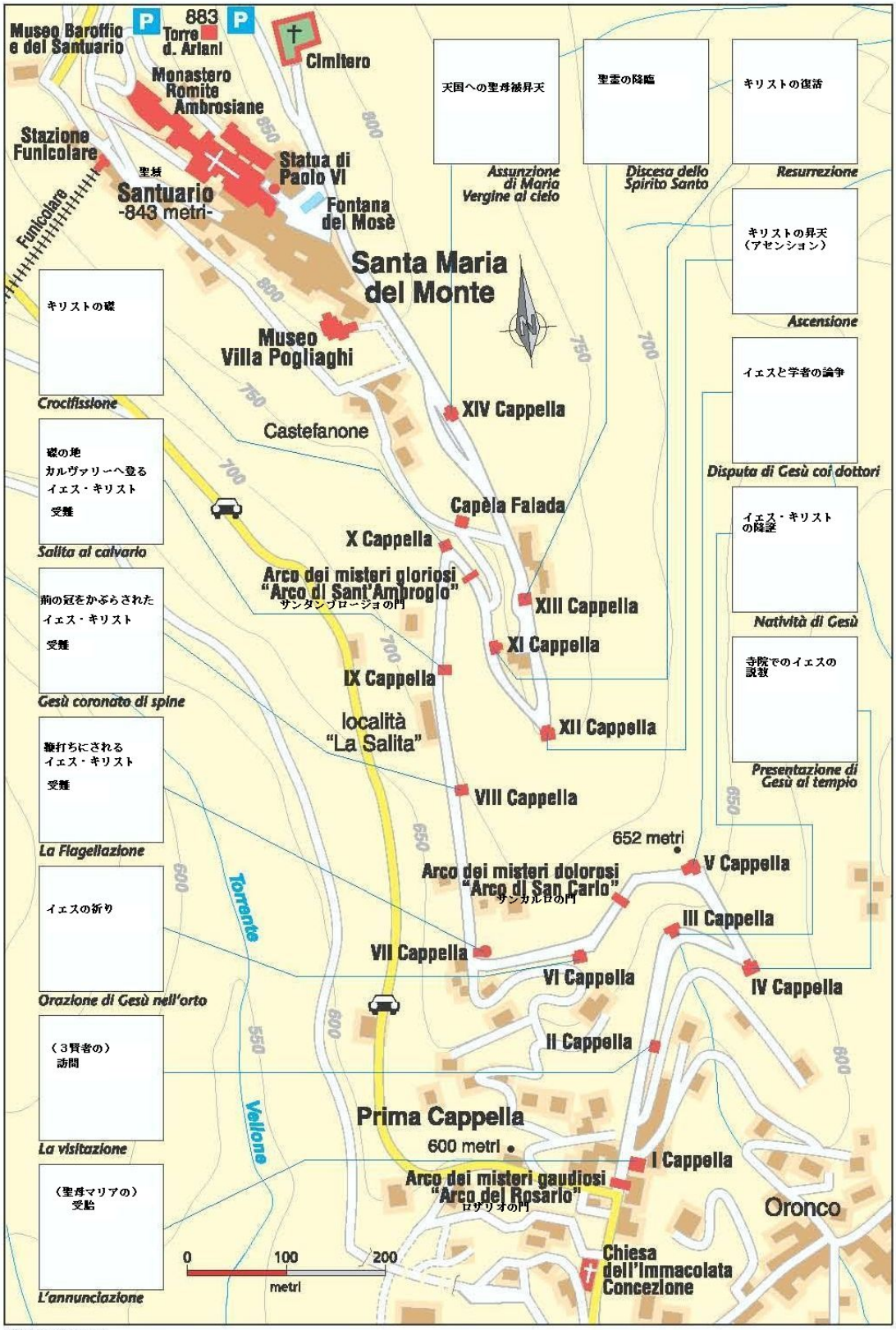
偶然見つけた宮殿を入ると、大きくて花がきれいな市民公園がありそこを散策しました。暑かったので、公園の中の木の茂った丘の上登ると、そこに、博物館とカフェがあり、そこで昼食としました。丘の上からの景色も良くお腹もいっぱいで、つい長居をしてしまい、気がついたら 3 時になっていました。あわててバス停に行き、バスとフニリクラーレを乗り継ぎ、サクロ・モンテの最高地点に着くと既に 4 時になっていました。4 時から 2 時間半サクロ・モンテを歩きましたが、最高地点から下りの 2 キロでも結構疲れました。でも、下から登ってくる人の顔を見る度にその大変さがわかります。暑い夏は、夕方からしかも最高地点からの下山のほうが正解です。6 時 20 分のバスで駅に戻り、7 時過ぎの Nord 線でカドルナに戻りました。

これで、1 回目の巡礼の旅は終わりです。キリスト教の知識が少し入ったせいか、ちょっとだけキリスト教徒の気分になっています。

ヴァレーゼには、国鉄とカドルナからの Nord 線で行く事が出来ます。Nord 線は 4.2 ユーロ約 1 時間で Varese Nord 駅に着きます。国鉄の Varese 駅と Varese Nord 駅は 2,30 メートルの距離で直ぐ近くにあります。駅からサクロ・モンテまでは、バスで行く事になりますが、両方の駅前にはサクロ・モンテ方面に行くバス停はありません。Varese Nord 駅と国鉄駅の間のマクドナルドから Via Manzoni に入り、しばらく歩いたところに Zara があり、その前がバス停です。そこから、Sila の Linea C のバスに乗ります。バス料金は 1.05 ユーロ（75 分有効）で、近くの売店で購入できます。75 分で戻るのは無理なので、帰りの切符も一緒に購入したほうが良いと思います。Zara の先の Oviesse 前にも次のバス停がありますから、売店が近くになければ Oviesse 方面に歩いて行けば見つかります。バスはフニクラーレ（ケーブルカー）の駅まで 30 分弱で行きます。フニクラーレ駅は無人駅で、1 ユーロの自動販売機で切符を購入します。1 ユーロが無い場合は、両替機もあります。フニクラーレはそこから約 5 分で最高地点まで行きます。

帰りはフニクラーレで戻ることも出来ますが、最高地点から第一礼拝堂のすぐそばのロザリオの門まで、約 2 キロの下りを歩き、小さな教会の脇の小道を抜けると、サクロ・モンテ入口のバス停がありますので、そこから乗ることをお勧めします。バスは、ヴァレーゼの国鉄の駅で停まります。Varese Nord 駅には停まりませんので、国鉄駅で降りてください。そこから Varese Nord 駅は歩いて直ぐです。バスは、土、日曜日でも 30 分間隔で来ます。

“ロザリオの祈り“サクロ・モンテ（ヴァレーゼ）



ここは“ロザリオの祈り”のサクロ・モンテと呼ばれています。“ロザリオの祈り”というのは、聖母マリアに神であるキリストへの取り成しの祈りを捧げるときに、十字架に連なった数珠の様ものがついている祈りの道具であるロザリオを、祈りの回数を確認するために数珠を手繰りながら行う祈りです。従って、ここは、聖母マリアを拝したサクロ・モンテです。一番目の礼拝堂の手前にはサクロ・モンテの入口のロザリオの門があります。実際にロザリオを持って祈りながら礼拝堂を回っている老夫婦を見かけました。

また、ここは、サクロ・モンテが造成される以前の 1474 年から巡礼地となっていた古くからの聖なる山です。1604 年から約 2km の道に沿ってサクロ・モンテの造成が始まりました。短期間に多額の寄付金が集まった為、他のサクロ・モンテに比べて工事が早く進み、1623 年までに 13 の礼拝堂が完成し、完成したのはヴァラッロの次に古いサクロ・モンテとなっています。1698 年には、14 の礼拝堂と教会（Santa Maria del Monte 教会）・井戸・噴水が完成しました。教会・礼拝堂、井戸、噴水にはそれぞれ彫像やフレスコ画により装飾され、上記の如く各礼拝堂にキリストの物語が描かれています。但し、礼拝堂の中には入れません。従って、窓から礼拝堂の中を覗くことになりますので多少見難くなります。それでも、フレスコ画やリアルな表情の彫像が非常に印象的です。

入口は、標高 600 メートルのところにあり、第一礼拝堂から第 14 礼拝堂と続き、最終地点がサンタ・マリア・デル・モンテ教会となっています。最終地点（最高地点）は標高 832 メートルとなっています。最高地点からの見晴らしはすばらしく、山々、湖、ヴァレーゼの街を見わたすことができます。夏には、最終地点までフニクラーレ（ケーブルカー）が運転していますので、最初に最高地点へ行き、そこから第一礼拝堂まで逆に下りを歩くことも出来ます。暑い夏はそのほうがお勧めです。

最高地点から、歩いて少し上がったところに駐車場があり、そこからの景色を楽しんだ後に、サンタ・マリア・デル・モンテ教会に行き、そこから礼拝堂めぐりの巡礼となります。第 14 礼拝堂から第一礼拝堂まで、約 2 キロの下り歩行となります。第一礼拝堂のすぐそばのロザリオの門をくぐって巡礼は終わりです。その先に小さな教会があり、その脇の小道を下がるとカフェがあり、そこが帰りのバス停となります。